

はまごう小だより

～あいがとうの花を咲かせよう!～

伊勢市立浜郷小学校

令和4年6月17日

発行者 平生 理恵

第7号

東海地方も梅雨入りしました。

今年は各地で平年よりも遅い梅雨入りとなり、東海地方も6月14日(火)、気象台から梅雨入りが発表されました。今年も子どもたちの色とりどりの傘の花が咲きます。そこで、毎朝の交通指導で気付いたことがあります。それは、雨が降っていても傘をささずに登校してくる子ども達がいるということです。確かに傘をさしていると片方の手が塞がってしまうので不便だと思います。それならカッパを着させてもらえればと思います。手には傘を持っているので、「傘をさして。」と声をかけるとしぶしぶ…。また、傘をさしていても雨の状態によってはびしょり濡れてしまうこともあります。そんな時に備えて、タオルや靴下の替えを持たせていただけると助かります。梅雨時は気温も不安定で、湿度も高くなるため体調も崩しやすくなりますので、お子さんの体調管理をよろしくお願いします。



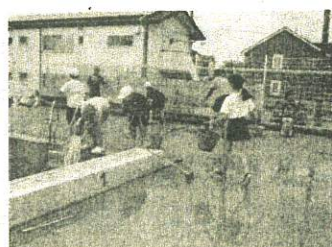
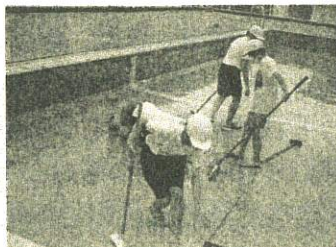
今年は3年ぶりの学校水泳です。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮して、2年間学校水泳を中止しました。今年は3年ぶりの学校水泳ということで1～3年生の子どもたちにとっては初めての学校水泳ということになります。また、4～6年生の子ども達もベビープールしか経験していないので、初めてメインプールで泳ぎます。水泳指導は、他の学習より気をつけることがたくさんありますので、教職員もいつも以上に慎重に指導をおこなってまいります。プールでのふざけは命にかかわることもありますので、子どもたちにも水泳のきまりをしっかりと守ってもらい、楽しく安全に学校水泳を実施していきたいと考えています。

6月6日には、伊勢病院より指導者に来ていただき、全教職員で救命救急法の講習を受けました。教職員は万が一の時に備えて、毎年講習を受けていますが、実践しなくてもよいようにいつも願っています。



そして、昨日6月16日(木)には6年生の児童と職員でプール掃除を行いました。6年生にとっては、小学校生活最後の水泳となります。他の学年も気持ちよく使えるようにと、どの子もびしょぬれになりながら自分の持ち場を一生懸命掃除してくれました。ずいぶん汚れていたプールやプールサイドが見違えるようにきれいになりました。いよいよ、来週末6月24日(金)から学校水泳が始まります。水泳のご準備よろしくお願いいたします。

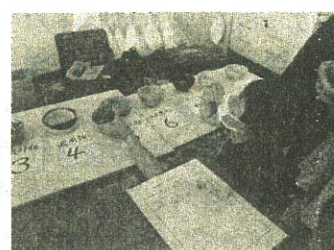


陶芸教室を行いました。

6月3日(金)、6年生が陶芸づくりにチャレンジしました。講師として子どもたちに指導してくださったのは、野呂教材の倉本さんです。倉本さんの指導は、分かりやすいだけでなく吉本新喜劇並みのユーモアたっぷりで、とっても楽しいのです。子どもたちは倉本さんのお話に、しっかりと耳を傾けていました。倉本さんのご指導により、初めは粘土の塊であったものが、約1時間後にはそれぞれ味のあるお茶碗や平皿に変身しました。これらのものをしばらく預かっていただいて、窯で焼いていただきます。

授業の最後には、仕上げに塗る塗料の色を選んでいましたが、これもまた悩んで悩んで…。でき上がりの日が今から楽しみです。

出来上がった作品は、秋に予定している作品展で展示します。どうぞお楽しみに！！



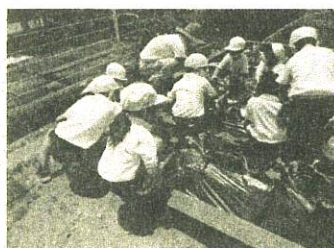
サツマイモの苗を植えました。



6月13日(金)、1年生の子どもたちがサツマイモの苗を植えました。先生は業務員の北村さゆりさんです。子どもたちが苗を植えやすいようにと、事前に学級園に畝をつくりマルチシートを張って準備をしておいてくれました。マルチシートにいくつか丸く切り抜かれたところがありその所に一本ずつサツマイモの苗を植えていくのです。

子どもたちは北村さんと担任の先生のお話をしっかり聞いて、丁寧に苗を植えていきました。先生から、「植物にもみんなの声が聞こえているんだよ。」と言われ、苗を植え終わると「大きくなってね。」と苗に話しかけていました。最後はみんな揃って北村さんに「ありがとうございましたあ！」

さあ、どんなふうに育っていくかな。お芋ほりの日が楽しみです。



学校生活における児童のマスク着用について



先日学校からお便りもいただきましたが、暑い時期を迎えるにあたってのマスクの着用についてお知らせします。基本的には今までのコロナ感染症の予防対策は徹底して行っていますが、マスクの着用については、熱中症などの健康被害が発生する恐れがあるため、登下校時や体育の授業の時、休憩時間中の外遊びの時などはマスクを外すように指導しています。また、屋内であってもテスト、読書、調べ学習等、児童の移動がなくしゃべらない場面においても、マスクを外すようにしています。

マスク着用が当たり前になっていた期間が長くなってきたので、子どもたちの中にもマスクを外すことに抵抗を感じる子がいるようです。基本的に無理強いすることはしませんが、熱中症が心配される時には声かけをします。よく考えて、コロナ感染症と熱中症の両方から自分の身を守っていきましょう。